

平成28年度部会事業実施状況報告

清流・環境対策部会

「身近な川や水辺の健康診断」は、大人数の小学校からの参加申し込みと調査サポートの要請があり、各地域の会員等の協力のもと要請に応え、参加人数の増加へも繋がった。「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」「捨てない・すてさせない in 最上川」によるゴミ発生源対策は、「スポ GOMI 大会」の開催を通して、クリーンアップキャンペーンとのコラボレーションイベント等での同時開催の継続や中高生等のリピーターの参加も増加し、取り組みが広まっている。あわせて従来から実施している「身近な川や水辺の健康診断」参加の小学校等で海岸漂着物問題啓発の出張講座を行うなど、「海岸漂着物問題対策」を全県で展開し、さらなる普及啓発に努めた。「もがみがわ水環境発表会」では、ワークショップ形式の意見交換会を初めて取り入れ、参加者同士がより活発に交流できた発表会となった。

1 第15回身近な川や水辺の健康診断

(1) 実施状況

- ①一斉調査期間 平成28年6月4日（土）～6月12日（日）
学校などで調査の場合 7月29日（金）まで

②主な調査内容

- ・透視度計（1m）による透視度調査
- ・パックテスト（簡易水質検査器材）による水質調査
6項目：pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン
※CODについては国土交通省と市民団体が連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」の一環として実施。調査結果50地点分を提出。
- ・水辺環境（ゴミや川の中や水辺の生きもののすみ場の様子など）の簡易目視調査
- ・水生生物調査
山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては身近な川や水辺の健康診断との同時申込み可能。

- ③参加申込み 92団体・1,208名・235箇所

- ④調査実施結果 89団体・1,123名・257箇所 ※（ ）内の数値は、27年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
実施団体数	19 (23)	35 (33)	18 (16)	17 (21)	89 (93)
調査箇所数	53 (59)	101 (85)	63 (59)	40 (47)	257 (250)
参加人数	235 (308)	488 (289)	215 (174)	185 (214)	1,123 (985)

年度別実施状況

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
団体数	124	83	108	116	110	100	85	80	95	101	97	100	95	93
人数	803	929	1060	1271	1181	1213	890	1055	1227	1028	978	934	1025	985
調査地点数	346	285	284	298	287	217	215	221	259	257	256	258	243	250

(2) 事業に対する支援

①パケットと比色カード (COD 以外の 5 項目)

国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所

②公定法調査協力

公益社団法人山形県水質保全協会、一般財団法人山形県理化学分析センター、エヌエス環境株式会社、株式会社テトラス、東北環境開発株式会社、株式会社東北サイエンス、株式会社理研分析センター

(3) 参加者への現地調査サポートについて

参加団体からの要請に応え、会員専門機関や地域部会等のご協力により、15 団体に事前指導や現地にて水質調査指導や調査全般のサポートを行った。

(協力会員等) 公益社団法人山形県水質保全協会、しらかサイエンスクラブ、心のふるさと新井田川の会、山形県環境科学研究センター、村山地域部会

(4) 調査結果集計は年度末にむけて、平成 27 年度に引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会の協力を得て、レーダーチャート等を作成し、ホームページ上の報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載。概要版として全県のデータを 1 枚の河川地図上にまとめたものを印刷。あわせて、フォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載。

(5) 実施した小学校へは、総合学習等の参考にしていただけるよう、調査結果報告書を受け取り後早めにレーダーチャートを作成し送付。

2 第 14 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

(1) 実施状況

・実施期間 8 月～10 月

・調査実施結果 53 団体・2,246 名 ※ () 内の数値は、27 年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
参加グループ	10 (11)	29 (25)	2 (3)	12 (14)	53 (53)
参加人数	426 (439)	1,416 (389)	34 (73)	370 (447)	2,246 (1,348)

年度別参加状況

	H14	H15	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
グループ数	6	17	21	58	49	50	50	49	55	65	59	53	53
人数	—	—	—	1839	1019	1000	1700	973	1347	1523	1843	1510	1348

- ・データカード作成にご協力いただいたグループの活動経費の一部を支援。一律 3 千円
- ・活動の効率化を図るため、参加申込状況や調査結果をホームページの「最上川環境マップ」へ掲載し、随時更新。地域別・県全体の集計結果をホームページへ掲載。
- ・クリーンアップ全国事務局にデータを提供 (全国・国際レベルの研究データとしても活用)。
- ・全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へ情報を提供。

(2) イベントとのコラボレーション

- ・「AQUA SOCIAL FES!!2016 キレイな最上川を未来に」(山形新聞社) (参加者計 約 200 名)
第 1 回: 6 月 11 日 (土) 山形市 馬見ヶ崎プールジャバ周辺
第 2 回: 9 月 24 日 (土) 大江町 最上川ふれあい会館周辺
- ・ふれんどしっふ水辺の郷サミット (三郷堰土地改良区) (参加者 52 名)
9 月 6 日 (火) 中山町三郷堰頭首工最上川右岸河川敷 (スポ GOMI 大会同時開催)

3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」

- (1) スポ GOMI 大会の開催 別紙1
平成25年度から継続して、海岸漂着物問題対策の普及啓発として県内各地で実施。
- (2) 海岸漂着物問題普及啓発の実施
 - ・「身近な川や水辺の健康診断」に参加する小・中・高校生等、11団体に対して出張講座を実施。 別紙2
 - ・平成28年度河北町衛生指導員研修会にて佐竹村山地域部会長が「環境にやさしい暮らしの工夫～家庭でできる環境保全～」と題し講演。5月16日(月)、参加者64名。
 - ・「もがみがわ水環境発表会」では「スポ GOMI 大会の実施状況」としてポスター発表に参加。11月5日(土)、参加者約90名。
 - ・最上小国川清流未来振興機構まちカフェにて大泉清流・環境対策部会副部会長がスポ GOMI 等の事例報告を行った。11月25日(金)、参加者約30名。
- (3) 海岸漂着物問題対策との連携
6月17日(金)、12月12日(月) 山形県海岸漂着物対策推進協議会出席。
- (4) 川ごみ団体との連携
 - ・「全国川ごみネットワーク」の会員として情報共有などを図った。
 - ・「全国川ごみネットワーク」総会・理事会へ柴田会長出席。
 - ・「川ごみサミット」へ柴田会長参加。3月4日(土)、京都府亀岡市にて開催。
 - ・クリーンアップキャンペーンの結果を「全国水辺のごみ調査」へ提供。
- (5) ホームページ「最上川環境マップ」の整備
クリーンアップ活動の効率化を図るため、クリーンアップキャンペーン、スポ GOMI 大会の実施予定日程、場所、結果をマップに掲載し、随時更新。身近な川や水辺の健康診断の調査結果は「水辺水質マップ」としても掲載。

4 第12回もがみがわ水環境発表会

- 県内各地において水環境向上の活動に取り組む個人、団体、学校(小・高・大学)、研究機関が、日ごろの活動や研究成果を発表。実行委員による2回の運営準備会議で実施詳細を決定し、開催。
- ・11月5日(土) 山形県産業創造支援センター 多目的ホール及びマルチメディアホール
(参加者 約90名)
 - ・協賛：公益社団法人山形県水質保全協会、株式会社理研分析センター、大岩環境技術士事務所、一般社団法人山形県計量協会環境計量証明部会、一般社団法人山形県浄化槽工業協会、一般財団法人山形県理化学分析センター
 - ・後援：山形県教育委員会、公益財団法人山形県生涯学習文化財団、ほか報道機関18社
 - ・実行委員：清流・環境対策部会、国交通省山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所、山形県
 - ・発表：口頭発表セッション8団体
ポスターセッション11団体(うち「かべ新聞」(小学生)2団体)合計19団体。
 - ・基調講演：「インドの川、日本の川」
講師 長岡昇氏(NPO「ブナの森」代表)
基調講演をもとにワークショップ形式の意見交換会を実施。
 - ・講演要旨集のカラー版をフォーラムホームページに掲載。

5 報告書「笑顔を写す山形の川」

「身近な川や水辺の健康診断」、「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果等の報告書を作成し、冊子での印刷から変更し、デジタルブック形式でホームページ上に掲載。「身近な川や水辺

の健康診断」は全県のデータを1枚にまとめた概要版のみ印刷。

6 広報啓発

環境展のブースに出展し、清流・環境対策部会事業及び当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めた。

- ・9月25日(日)「環境フェアつるおか2016」ブース(場所:鶴岡市小真木原運動公園)
- ・11月19日(土)～20日(日)「やまがた環境展2016」ブース(場所:山形市ビッグウイング)

最上川文化・地域経済活性化部会

「最上川夢の桜街道づくり」は維持管理等の相談があった市町村に樹木医を派遣し、調査・相談による継続的な支援を行っている。桜の維持管理を行う「桜守」育成強化のため「桜守養成講座」を開催し、規定の座学・実習を修了した方へは、認定書を発行。隔年開催している写真コンテストは「第3回やまがた水辺の四季写真コンテスト」として実施。「地域おこしの紙芝居作成」は地域部会を中心に地域おこし協力隊員等と協力し、白鷹町にて「紙芝居ワークショップ」を開催し、地域の桜にまつわる話をもとに地元中学生たちが紙芝居を作成。写真コンテスト開催や紙芝居作成等県内各地の絵になる風景や隠れた名所、地域の資産・文化の再発見、掘り起こしにより、郷土愛を育む取り組みの推進を図った。

1 最上川夢の桜街道づくり

- ・相談のあった2市等（米沢市、天童市）に対して、樹木医を派遣して現地にて調査。桜と桜の育成にかかわる周辺樹木の調査・指導を行い、維持管理を推進。
- ・桜守育成のための研修会をさらに広げ、桜守の養成のため、地域部会等と連携して「桜守養成講座」を開催。座学・実習を規定の時間受講した方に対して認定書を発行した。

講師：樹木医 山田 寛爾 氏

4月17日（日）上山市上山城 かみのやま羽州桜の会と共催（村山地域部会）

11月12日（日）金山町遊学の森（最上地域部会）参加者8名 認定書発行

11月20日（日）金山町グリーンバレー神室他（金山町役場）参加者20名 認定書発行

2 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」

- （1）「東北・夢の桜街道推進協議会」主催の「第5回“美しき桜心の物語”の語り会」を開催。
（4月29日（祝）秋田県角館樺細工伝承館）
- （2）7月27日（水）、盛岡市「アイーナいわて県民情報交流センター」にて「東北・夢の桜街道推進協議会」平成28年度総会を開催。協議会メンバーが一同に集結し、平成27年度事業決算、平成28年度事業計画予算、役員を選任等協議を行った。
- （3）「東北夢の桜街道」に寄付をいただいた、山形信用金庫の春のクリーンアップ活動にフォーラムにて参加。
- （4）平成29年4月15日（土）に上山市で開催される「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」の参加者募集。

3 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行

- ・事業報告を主とした機関誌をWeb Paperとして作成し、ホームページ上にデジタルブック形式で掲載。

4 夢の桜街道キャンペーン

- ・4～5月にかけて協賛金融機関の協力により各支店で開催。会員拡大のため、会員募集のポスターの掲示や資料・啓発物品を配布。
- ・28年度の要望等を加味し、29年度の啓発物品の内容やキャンペーンポスターを検討し作成。

5 写真コンテスト受賞作品写真展

- ・桜の時期に合わせて、夢の桜街道写真コンテスト入賞作品等の展示と桜維持管理事業の啓発を兼ねた写真展を開催。
 - ・4月9日（土）～16日（土） 上山市 長屋門ギャラリー
 - ・4月17日（日）～5月1日（日） 村山市 甕葉プラザ ロビー
 - ・5月1日（日）～15日（日） 東根市 おいしい山形空港ビル 多目的ルーム
 - ・2月1日（水）～14日（火） 東根市 おいしい山形空港ビル 多目的ルーム

- ・3月24日(金)～30日(木) 村山市 飩葉プラザ ロビー
- ・3月31日(金)～4月14日(金) 上山市市役所
- ・「かわとぴあ 2016in 山形」ブースにて26年度に実施した「美しい元気な山形づくり写真コンテスト～次世代に繋ぐ川と人～」入賞作品を展示。
9月18日(日) 山形市馬見ヶ崎川河川敷 「日本一の芋煮会フェスティバル」会場内

6 写真コンテスト

隔年開催している写真コンテストを、第3回やまがた「水辺の四季」写真コンテスト(テーマ:「身近な水辺と人々のいとなみ」)として実施(応募締め切り:平成29年1月20日(金))。

- (1) 審査会:1月27日(金)
 - ・審査員:阿部直美県写真連盟会長、前川孝子フリーアナウンサー、本間義衛最上川文化・地域活性化部会長
 - ・応募数200点(84名)より最優秀賞/1点、優秀賞/3点、奨励賞/4点、佳作/6点、高校生以下の部入選/3点を選出。
- (2) 表彰式:3月4日(土) 山形県郷土館「文翔館」ギャラリー6
- (3) 入賞作品写真展:3月4日(土)～9日(木)山形県郷土館「文翔館」ギャラリー6・7で開催。
来場者:約380名
- (4) 入賞作品はホームページへの掲載や啓発物品用の絵はがきに使用するなど、広く発信。

7 ホームページの更新

- ・コンテンツを部会ごとに整理するなど、トップページのリニューアル、関連のあるものの相互リンクを張る等、より見やすいものに更新。
- ・紙芝居等の紹介動画なども取り入れ、魅力あるものにして更新。

8 地域おこしの紙芝居作成

- ・地域部会で行ってきた紙芝居をスキルアップしながら、地域を超えて繋いでいく。
- ・置賜地域部会にて「紙芝居づくりワークショップ」を4月から定期的開催。白鷹町立白鷹中学校の生徒が参加し作成。出来上がった紙芝居は白鷹町蚕桑コミュニティセンター蚕桑地区研修会にて3月5日(日)にお披露目。今後は小学生への読み聞かせなどにより地域資源として活用していく。

地域部会

各地域部会が主体となり運営。各地域の特性や会員のニーズを踏まえつつテーマを決め、研修会等を開催。実施に当たっては、地域住民や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワーク拡充を図っている。

組織の強化を図るため、必要な場合は副部会長の導入を検討。

◇置賜地域部会

- (1) 紙芝居づくりワークショップの開催。
- (2) 「身近な川や水辺の健康診断」事前指導・調査サポートの実施
しらたかサイエンスクラブ高山代表が、水質調査の事前指導・調査当日のサポートを実施。
6月17日(金)川西町立大塚小学校、7月5日(火)白鷹町立荒砥小学校、7月22日(金)白鷹町立鮎貝小学校において実施。
- (3) 米沢市への国道からの玄関にあたる最上川河川敷(米沢市役所近くの花沢大橋直下流右岸)にヒ

マワリやコスモスを植栽。

- (4) 最上川文化交流会の開催。11月8日(火) 白鷹町文化交流センターあゆむ 参加者約50名。
27年度開催の舟運文化シンポジウムの流れを汲み、開催地酒田市からも参加して、本間美術館 顧問 高瀬靖氏の講演他を行った。

◇村山地域部会

- (1) 桜の維持管理活動への協力。
4月17日(日) 上山市上山城にて開催。
- (2) 5月16日(月)、「平成28年度河北町衛生指導員研修会」にて佐竹部会長が「環境にやさしい暮らしの工夫～家庭でできる環境保全」と題して講演し、海岸漂着物問題啓発等を行った。
- (3) 「スポGOMI大会」運営スタッフとして参加協力。
6月11日(土) AQUA SOCIAL FES!!2016、7月30日(土) スポGOMIで街歩き山形大会、
10月20日(木) 安藤ハザマ協力会東北支部スポGOMI大会、
11月3日(祝) スポGOMI大会 in 矢野目・塚野目大会、11月26日(土) スポGOMI山形北部大会、
- (4) 「やまがた環境展2016」出展ブースにてスタッフとして協力。
11月20日(日) 「山形ビッグウィング」
- (5) 「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポートの実施
6月21日(火) 東根市立大森小学校、7月12日(火) 西川町立西川小学校において、水質調査当日のサポートに協力。

◇最上地域部会

- (1) 「もがみの湧水調査会」(最上町)
9月6日(火)、26年度から始めた「湧水マップ箇所」の現状調査について、最上町の湧水箇所にて実施。参加者22名。調査結果をもとに、湧水箇所の標柱等の整備を進めている。
- (2) 「遊学の森杯スポGOMI大会」開催
5月15日(日) 金山町グリーンバレー神室周辺にて開催。参加者40名
- (3) 「桜守養成講座研修会」の開催。
11月12日(土) 金山町遊学の森「木もれび館」で開催。
桜の歴史や種類、植樹や育成の際に注意すること、生育状況の改善、育成管理の仕方などの座学後、剪定の仕方、病気の枝の見方や処理、土壌についての実技講習を実施。研修会受講者に「桜守認定証」を発行。講師：樹木医 山田 寛爾 氏

◇庄内地域部会

- (1) 「身近な川や水辺の健康診断」にかかわって、調査サポートの実施。
①6月22日(水)、鶴岡市立櫛引東小学校：赤川と学校で水質・水生生物調査についてのサポートを3名で実施。
②6月24日(金)、酒田市立平田小学校：新井田川と学校で川についての講話と水質調査のサポートを4名で実施。
- (2) 桜の育成維持管理活動
①桜の剪定作業：酒田市の幸福川づつみの桜95本、豊川づつみの桜40本について、27年度実施した「桜の健康診断」にもとづいて、2月協力業者と共に剪定作業を実施した。
②最上川堤防の桜並木2箇所(庄内狩川地区・余目地区)について、管理団体に剪定作業を行うべく進言と協力業者の紹介をし、機関会議に諮ることとなった。
- (3) 庄内地方の桜の群生地を把握するため、基本資料の調査・整理をした。

総会・運営委員会・部会

通常総会（6月29日）、運営委員会（5月18日、12月7日、3月22日）、合同部会（12月7日、3月22日）

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 「平成28年度 川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務（山形県循環型社会推進課）
委託料：6,048,000円
①スポGOMI大会開催
②海岸漂着物問題普及啓発の実施
- 2 やまがた社会貢献基金「団体支援助成事業」
事業名：水環境保全による美しい元気な山形づくり推進事業～もがみがわ水環境発表会～
助成額：113,000円 「もがみがわ水環境発表会」の開催。
- 3 やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」
テーマ名：テルス（株）川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業
事業名：美しい山形クリーン作戦！
助成額：450,000円
①「スポGOMI大会」の開催（3大会）
②クリーンアップキャンペーンの実施
- 4 水環境保全助成事業（一般社団法人全国浄化槽団体連合会）
助成額：200,000円 「身近な川や水辺の健康診断」の実施
- 5 「東北夢の桜街道」寄付金（山形信用金庫）
寄付額：100,000円
- 6 「もがみ川 特別金利定期預金」寄付金（山形県信用組合協会）
寄付額：500,000円
- 7 eco証券Web約款選択による寄付金（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）
寄付額：222,510円
- 8 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
・6月17日（金）、12月12日（月）
- 9 「第36回全国豊かな海づくり大会」との連携
「スポGOMI」大会を記念行事として開催。
- 10 全国川ごみネットワークへの参加
3月4日（土）総会・理事会、「川ごみサミット」
- 11 「美しい多摩川フォーラム」との連携事業
東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとして、「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の推進。
- 12 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。